

ニロ[®] 36

▶ 主な特長

低膨張性合金。常温範囲でほとんど一貫した寸法を維持
超低温から約+500 °C (+930 °F) まで低膨張率を維持
超低温で強度および靱性を維持

重要 御社のご希望に合わせた機械的特性で製造いたします

お客様への利点

範囲
0.025mm~21mm
(0.001"~0.827")

3m 3t
3mから3t (10 ftから6000
Lbs) までのご注文

納期
3
週間以内
納期:3週間以内

御社の仕様に沿った特注ワイヤー

E.M.Sもご利用いただけます

テクニカルサポート

ニロ[®] 36 販売形態

- 丸線
- バー、カット済みワイヤー
- 平線
- 成形ワイヤー
- ロープ/素線

パッケージ

- コイル
- スプール
- バー、カット済みワイヤー



化学組成			仕様	主な特長	標準的用途
素子	最小%	最大%	W.Nr. 1.3912 UNS K93600 UNS K93601 AWS 090	低膨張性合金。常温範囲でほとんど一貫した寸法を維持します。 超低温から約+500 °C (+930 °F) まで低膨張率を維持します。超低温で強度および靱性を維持します。	長さの基準 (測定参考) サーモスタット・ロッド レーザー部品 液化ガスの貯蔵、輸送用のタンク、配管
Ni	35.00	38.00			
Fe	BAL				
C	-	0.10			
Mn	-	0.60			
P	-	0.025			
S	-	0.03			
Si	-	0.35			
Cr	-	0.50			
Mo	-	0.50			
Co	-	1.00			

密度	8.11 g/cm ³	0.293 lb/in ³
融点	1430 °C	2610 °F
変曲点	220 °C	430 °F
熱伝導性	10.0 W/m・°C	69.3 btu・in/ft ² ・h °F
膨張係数	1.5 μm/m °C (20 – 100 °C) 2.6 μm/m °C (20 – 200 °C)	0.83 x 10 ⁻⁶ in/in °F (70 – 212 °F) 1.4 x 10 ⁻⁶ in/in °F (70 – 392 °F)

仕上がったパーツの熱処理					
ニロ合金は通常、焼きなまし状態で提供・使用されます (残留冷間加工により熱膨張率に影響が出ます)。 焼きなまし時間は部分の厚さによって異なる場合があります。					
	タイプ	温度		時間 (時間数)	冷却
		°C	°F		
最高度の寸法安定性	焼きなまし	850 – 1000	1560 – 1830	0.5	空気または水
		830	1525	0.5	水
		300	570	1	水
		100	212	48	空気

性質				
状態	伸張強度 (近似値)		動作温度 (近似値)	
	N/mm ²	ksi	°C	°F
焼きなまし	450 – 550	65 – 80	~まで +500	~まで +930
硬引き	700 – 900	102 – 131	~まで +500	~まで +930

上記の伸張強度範囲は典型値です。異なったものをご希望の場合はお尋ねください。